2026年9月の環境活動報告



太陽光が薄膜に当たると、電子が動いて電流を生じる不思議なもの、ペロブスカイト。
発電する薄い膜は、様々な用途が考えられます。期待は大きいですが、開発はどう進んでいますか。

現在、ペロブスカイトの開発を行っている企業は下記の通りです。

企業名（国名）	現在の開発状況
積水化学（日本）	軽量・柔軟な太陽電池フィルム（SOLAFIL）の事業化
パナソニック（日本）	発電する窓の実証
EneCoat Technologies（日本）	建物・小型電子機器向け太陽電池の開発・実証
Oxford PV（英・独）	高効率ペロブスカイト・シリコンタンデム太陽電池の事業化
LONGi（中国）	高効率タンデム太陽電池の研究（研究室で34.0%達成）



ペロブスカイトは、環境には優しいものでしょうか。

環境メリット	期待できる効果
CO_2削減	再エネで化石燃料依存を低減
土地保全	建物活用で新たな土地利用を削減
省資源	薄型・軽量化で材料使用量を削減
省エネ製造	低温製造でエネルギー消費を削減
電池廃棄削減	自立型IoTで電池交換・廃棄を削減
農業との共存	同じ土地で発電と農業を両立



ペロブスカイトは、ルーフ、フード、窓、ドア、サイドパネル、トランクとバンパーをカバーできます。

結論

ペロブスカイトは、未利用の場所で発電し、CO_2削減や電子機器の自立電源に活用できます。
今後の普及には、実用化・長期耐久性・有害物質の適切な管理が重要です。

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	1,761.0 kwh/月	1,413.0 kwh	124.6%	達成	
節水	水道使用量削減	7.429 ㎥/月	7.174 ㎥	103.6%	達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	14.00 Kg/月	4.83 Kg	289.9%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	85 %/月	100.0 %	117.6%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	7 件	233.3%	達成	